

産総研中部センター・

日本鋳造工学会東海支部鋳造先端プロセス研究部会 共催シンポジウム
～鋳造分野から見たアルミニウムのサーキュラーエコノミーに関する現状と課題～

産総研中部センターと日本鋳造工学会東海支部鋳造先端プロセス研究部会は、アルミニウムのサーキュラーエコノミーにおける課題解決に貢献するため、アルミニウム産業の集積地である富山県にて、関連産業における最新情報、産総研をはじめとする各所での技術開発や取り組みなどを紹介するシンポジウム「鋳造分野から見たアルミニウムのサーキュラーエコノミーに関する現状と課題」を開催いたします。

日時：2026年3月6日（金）13:00～17:00

会場：オークスカナルパーク富山（富山駅北口より徒歩2分）2F 鳳凰東の間

開催方式：ハイブリッド開催（リアル+Zoomによるライブ配信）

参加定員：現地80名、ライブ配信無制限

ご案内・申し込み：<https://www.aist.go.jp/chubu/ja/news/20260306-001.html>

共催：産総研中部センター

日本鋳造工学会東海支部鋳造先端プロセス研究部会

後援：富山県・公益財団法人富山県新世紀産業機構/とやまアルミコンソーシアム・富山大学・

富山県立大学・日本鋳造工学会北陸支部・産総研北陸デジタルものづくりセンター

プログラム

13:00～13:25 【開会挨拶・産総研中部センターのご紹介】

産業技術総合研究所中部センター 所長 堀田 裕司

13:25～14:05 講演①【アルミ鋳物のボデー材への採用とリサイクル材の適用】

株式会社コベルコ科研 モビリティ営業部 主席部員 蛭川 謙一 氏

講演概要：自動車向けアルミダイカスト、特に高延性合金およびギガキャストの動向、LCA・ELV規則などリサイクル関連規制、主要OEMの再生材利用方針を解説する。また、電動化に伴いボデー・シャシー部品のダイカスト化が進み、非熱処理かつスクラップ利用を前提とした次世代高延性合金の開発やリサイクル技術の重要性が高まっている状況について整理した。

14:05～14:45 講演②【鋳造分野から見たリサイクルアルミ材の日本、及び世界情勢】

NEDO イノベーション戦略センター 首席研究員 田村 卓也 氏

講演概要：アルミニウムのサーキュラーエコノミーに関しては、展伸材へのアップグレードのみが注目されているが、鋳造材においても近年大変大きな動きが起きている。本講演では、鋳造材から見たアルミニウムのサーキュラーエコノミー、更には世界情勢に関して俯瞰した現状を講演する。

－休憩－

14:55～15:35 講演③【アルミリサイクルによる循環経済型イノベーション都市・富山の構築に向けた取り組み】

富山大学 教授 小野 英樹 先生

講演概要：JST の共創の場形成支援プログラム (COI-NEXT)「富山循環経済モデル創成に向けた産学官民共創拠点」において実施しているアルミからはじまる循環経済型イノベーション都市・富山の構築に向けた取り組みを紹介するとともに、リサイクルの鍵となるアルミ合金の元素分離に関する技術課題について講演する。

15:35～16:15 講演④【アルミニウム資源循環に向けた不純物元素除去技術】

産総研 マルチマテリアル研究部門 研究グループ長 村上 雄一朗 氏

講演概要：アルミニウム素材は軽量材として需要の増加が見込まれる一方、製錬における温室効果ガス排出量が多いこと、マテリアルフローにおいて不純物元素が混入することにより高純度材へのリサイクルが難しいことが課題である。産業技術総合研究所ではNEDO アルミニウム素材高度資源循環システム構築事業の一環として、分別結晶法を用いた不純物元素除去技術の研究開発を行っており、本プロジェクトの概要と産総研での技術開発について紹介する。

16:15～16:55 特別講演【自動車におけるアルミ鋳造部品の動向とアルミリサイクル化の必要性】

トヨタ自動車株式会社 モノづくり開発センター 素形材技術部 先行開発室 主幹 田端 英二 氏

講演概要：クルマのライフサイクル全体を考えた資源循環の取り組みとして、再生材採用率（車両重量ベース）2030年30%以上を目指すと目標を掲げて取り組んでいる。自動車におけるアルミ鋳造部品の動向とアルミリサイクル化の必要性について講演する。

17:00～17:15 （リアル会場のみ）名刺交換会